別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和6年度第2回加東市文化財保護審議会
開催日時	令和7年3月20日(木・祝)午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	加東市地域交流センター2階研修室(加東市下滝野1369番地1)
出席及び欠席委員の氏名	(出席委員6人) 瀧原 務、神崎壽福、湖内克利、中西正和、小山真永、森下大輔
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	加東市教育委員会 生涯学習課 課長)岸本孝司、係長)岸本素直、主査)藤原光平
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>I 会議の内容</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会長選出</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 令和6年度加東市文化財事業の報告について</p> <p>(2) 令和7年度加東市文化財事業について</p> <p>II 会議の経過</p> <p>別紙のとおり</p>

(別紙)

令和6年度第1回加東市文化財保護審議会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会長選出 委員の互選により、神崎委員を会長に選出。</p> <p>3 会議内容 (1) 報告事項 ①令和6年度加東市文化財事業の報告について</p> <p style="text-align: center;">＜質疑・意見等＞</p>
委員	指定文化財紹介看板の改修については地区の要望を受けて初めて設置を検討しているのか。
事務局	地区からの要望だけでなく、看板の設置者である事務局の方でも定期的なチェックを行う中で劣化が進行しているものについて改修を検討している。
委員	道標の再建方法について基礎部分の施工方法はどのように行ったのか。
事務局	単に地面に掘った穴に埋め込むだけとはせず、きちんと地下に鉄筋含め基礎を構築し、その後基礎部分に口の字状の石材を固定しその中に道標の基部を挿入し固定材と土で埋め戻すという工程を経て再建を完了させている。
委員	道標の部材が途中でひび割れている事例などもあると思われるがそのようなものに対してどのような補修方法を考えているのか。
事務局	以前にそのような事例を再建した際には、部材の割れ面に穴をあけた上で、管状の部品を用いて部品同士を接続し固定した上で再建作業を行ったものがある。ただし、製品ごとで保存修理の方法は異なってくると考えられ、その都度、専門業者と方法について検討を行い、審議会で委員の皆様にもご相談した上で事業を推進していきたいと考えている。
委員	今回の道標の改修事業が立ち上がる経緯はどのような要因が考えられるのか。
事務局	市内の道標については事務局でリスト化しており、定期的な巡回などで状態の確認を行っている。その中で劣化しているものがあれば地域と連携して改修作業をすすめている。それ以外にも地区の方からの要望・通報によって緊急的に改修を行う事例もあるが、現状で今回の件以外で

	要改修の事案は想定していない。
委員	改修した道標の存在などは是非とも市民の方々に周知してほしい。
事務局	現時点では、地区からの要望で出前講座を行った際に、区域内に存在する道標などの各種文化財を地図上で写真とともに紹介するようしており、地域住民の方々への周知は引き続き推進していきたい。
委員	以前から道標の再建事業は多く行っているのか。
事務局	10年程前に劣化していた道標を一斉に再建する事業を展開した。その際、各道標の所有者を確定することが困難であったことから、全て市の予算で再建を実施した。再建場所についても、元の位置から最も近い公有地にて再建するようになっている。その際には元あった位置の情報は記録として残している。
委員	地区のお堂などに所在する資料を調査した報告書は図書館などで閲覧可能なのか。
事務局	調査した資料群の存在については、防犯上の観点から公開することは控えた方がよいと考えており、基本的には地元地区と事務局のみで情報を共有している。
委員	資料館への学校からの展示見学で、滝野地域は南小学校が多いと報告されたが、東小学校の方の見学は実施されていないのか。
事務局	鬮竜灘により近い滝野東小学校については、当事務局とは別の支援団体との連携により学校内で独自に郷土学習を進めていると聞いており、その結果、資料館への見学はあまり行われていない。今後機会を見て見学の働きかけを行えるよう検討していきたい。
委員	資料館の解説資料として学校向けのワークシートのようなものは作られていないのか。そのようなものがあれば、学校側も見学を実施しやすいのではないのか。
事務局	おっしゃられるような種類のワークシートは現時点で資料館では作成していない。学校が資料館に見学される際には自前で事前学習を行っており、当日は学校側で用意されたワークシートを用いて学習を実施している。
委員	ワークシートの内容なども含めて、もう少し学校現場との連携を深めることはできないだろうか。
事務局	現在、改訂作業中のふるさと学習「かとう学」の教科書について、加東市の歴史部分の記載の確認作業を担当部局からの要望を受けて行っている。これを機会に執筆している社会科教員の方々との交流が深まれば今後様々な面で学校現場との連携が行える可能性が出てくると考えている。

	<p style="text-align: center;">②令和7年度加東市文化財事業について</p> <p style="text-align: center;">＜質疑・意見等＞</p> <p>委員 令和7年度の小中一貫校建設に伴う発掘調査を県の調査機関が受託する予定とのこと、それ自体に問題はないと考えるが、学校現場の目の前で行われている点も加味して、是非ともその調査成果を学校や地元住民の方々に現地で直接体感してもらえるような催しを展開できるよう働きかけてほしい。</p> <p>事務局 現時点での協議において、受託予定先も普及啓発事業については是非とも推進していきたいと回答している。調査現場の進捗に合わせて何らかの形での公開は実施される予定と聞いている。</p> <p>委員 そのような普及啓発事業の内容について、できうる限り学校現場に事前に周知して生徒の参加が多くなるように工夫してほしい。</p> <p>事務局 担当部局との協議においてその旨は伝えていきたい。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p> <p>これを以て会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	---